

誰ひとり取り残さない社会の実現へ

みんなで取り組むSDGs! 持続可能で新たな“まつど創り”

SDGs(持続可能な開発目標)とは、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。国連サミットでSDGsが採択された9月25日(Global Goals Day)を含む約1週間は「SDGs週間」として、SDGsへの意識を高め、行動を起こすきっかけづくりのために世界中でイベントなどが開催されています。

松戸市は「SDGs未来都市」に選定されるなど、SDGs達成への取り組みを原動力に地方創生を推進するための施策を進めています。この機会に、みんなで取り組めるSDGsについて考えてみませんか。 ※市の施策の詳細は市ホームページをご覧ください。



市ホームページ

いくつ知ってる？SDGs“17”のゴール(目標)

1 貧困をなくそう



地球上のあらゆる形の貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに



飢えをなくし、だれもが栄養のある食料を十分に手に入れられるよう、地球の環境を守り続けながら農業を進めよう

3 すべての人に健康と福祉を



だれもが健康で幸せな生活を送れるようにしよう

4 質の高い教育をみんなに



だれもが公平に、良い教育を受けられるように、また一生に渡って学習できる機会を広めよう

5 ジェンダー平等を実現しよう



男女平等を実現し、すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう

6 安全な水とトイレを世界中に



だれもが安全な水とトイレを利用できるようにし、自分たちでずっと管理していけるようにしよう

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



すべての人が、安くて安全で現代的なエネルギーをずっと利用できるようにしよう

8 働きがいも経済成長も



みんなの生活を良くする安定した経済成長を進め、だれもが人間らしく生産的な仕事ができる社会を作ろう

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



災害に強いインフラを整え、新しい技術を開発し、みんなに役立つ安定した産業化を進めよう

10 人や国の不平等をなくそう



世界中から不平等を減らそう

11 住み続けられるまちづくりを



だれもがずっと安全に暮らせて、災害にも強いまちをつくろう

12 つくる責任 つかう責任



生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守るよう、責任ある行動をとろう

13 気候変動に具体的な対策を



気候変動から地球を守るために、今すぐ行動を起こそう

14 海の豊かさを守ろう



海の資源を守り、大切に使う

15 陸の豊かさを守ろう



陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、多様な生物が生きられるように大切に使う

16 平和と公正をすべての人に



平和でだれもが受け入れられ、すべての人が法や制度で守られる社会をつくろう

17 パートナリシップで目標を達成しよう



世界のすべての人がみんなで協力しあい、これらの目標を達成しよう

地球をよくするために「2030年までにやるべき」ことを考えよう！



松戸市お知らせキャラクター・まつまつ

出典：(公財)日本ユニセフ協会ホームページ

身近なところから探してみよう

一人一人ができるSDGsの取り組み

世界には地球温暖化による気候変動とそれに伴う自然災害、環境汚染、貧困や飢餓、児童労働、教育格差など、国や地域によってさまざまな問題があります。

SDGsは「誰一人取り残さない」という考え方のもと、地球をずっと持続させる、人々が暮らし続けられるようにするための目標です。人と環境にやさしいまちづくりを推進するため、私たちの身近なところから取り組むことができるSDGsを探してみましょう。
※国際連合広報センターが公表しているアクション・ガイドを参考に一部を紹介しています。アクション・ガイドについて詳細は同センターホームページをご覧ください。



同センター
ホームページ

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



LEVEL 1



ソファに寝たままできること

- 電気を節約しよう。使っていない電気機器などは電源を切るようにしよう
- 印刷はできるだけしない。覚えておきたいことをインターネットで見つけたら、ノートにメモしたり、デジタル付箋を使って紙を節約しよう
- 持続可能で環境にやさしい取り組みをしている企業をインターネットなどで検索・発見して、そういう企業の製品を買うようにしよう

LEVEL 2



家にいてもできること

- 生鮮品や残り物、食べ切れない食材は早めに冷凍しよう
- できるだけ簡易包装の商品を買おう
- 窓やドアの隙間をふさいでエネルギー効率を高めよう
- お風呂に入るときや食器を洗うときの水を節約しよう



LEVEL 3



家の外でできること

- 買い物は地元のお店で。地元のお店で商品を買うことで経営を支援すれば地元の雇用が守れて、長距離輸送による二酸化炭素排出も減らすことができる
- マイボトルを持ち歩いたり、詰め替え可能なボトルを使ったりするようにしよう
- 買い物にはマイバッグを持参して、なるべくレジ袋はもらわないようにしよう
- いつも新品を買うのではなく、中古品店やリサイクルショップから掘り出し物を見つけてみよう

LEVEL 4



職場でできること

- 若者の相談相手になろう。それは誰かをよりよい未来へと導くための、思いやりある行動です
- 社内の冷暖房装置は省エネ型にしよう
- 通勤はなるべく自転車・徒歩または公共交通機関で
- 労働にまつわる権利について知ろう

まつまつのSDGs穴埋めクイズ

空白に入る正しい単語を選んで、SDGsのゴールを完成させよう！

いくつ覚えられたかな？

ゴール1 ()をなくそう ①食事 ②いじめ ③争い ④貧困

ゴール3 すべての人に()と福祉を ①お金 ②健康 ③幸福 ④水

ゴール8 働きがいも()も ①経済成長 ②産業革命 ③衣食住 ④少子化対策

ゴール13 ()に具体的な対策を ①人類の進化 ②子育て支援 ③海洋プラスチック ④気候変動

ゴール17 ()で目標を達成しよう ①日々の鍛錬 ②ライフワークバランス ③パートナーシップ ④テレワーク

クイズの答えは前のページをチェック！



まつどで発見！SDGs

松戸市は令和4年に内閣府から優れたSDGsの取り組みを提案する地方自治体「SDGs未来都市」に選ばれました。また同時に、大学生を中心としたZ世代による常盤平団地エリアの魅力向上の取り組みも、特に優れた先導的な事業として「自治体SDGsモデル事業」に選ばれています。今回、このモデル事業の一部をご紹介します。

常盤平団地の自然を生かし、地域に若者が集まれる場所をZ世代自身がつくる学生団体

TOKIWADAIRA YOUTH !

令和4年度に同団体が常盤平団地エリアの調査研究を行い、持続可能な魅力的なまちとなるための7つの「アクションプラン」を策定しました。学生たちは市や地域の人たちと協力しながら、このプランの実施やSDGsの普及啓発に取り組み、同エリアの地域活性化を図っています。活動の中心となる3つのアクションプランを紹介します。

ActionPlan 1 若者の居場所づくり

Z世代が常盤平のまちに関心を持ち、集まれる居場所づくりを目指し、メンバーのやりたいことや活動などについてディスカッションする学生ミーティング「Meetup」を月に1回実施。大学生を中心としたZ世代が参加しています。



ActionPlan 2 多文化共生×アート

常盤平団地で暮らしている外国人と日本人の住民が互いに「交流」する機会がないことに着目し、言葉の壁を超えた交流をアートを通じた作品づくりで行うアートワークショップを開催。古着を使用したオリジナルフラッグを作りながら、多文化交流を行いました。



ActionPlan 3 足元イルミネーション

常盤平団地エリアは緑が豊かな半面、木が太陽の光を遮り足元が薄暗いという課題を解決する実証実験として、同エリアで足元に電飾を設置するイベントを開催。太陽光発電を利用した再生可能エネルギーを電源に使用し、環境に配慮しながら同団地内をライトアップしました。



健康プログラム「TOKIWALK」

ときわだいらの森を歩こう！

市と千葉大学予防医学センターの共同研究、UR都市機構の協力のもと、同団地で育まれた豊かな自然を感じながら、歩くことを楽しんだり、新たな魅力を発見したりできる健康プログラムです。

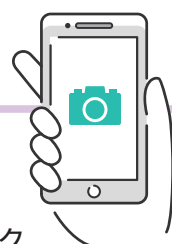
エリア内に設置された22カ所のチェックポイントにある二次元コードを読み取ると、ウォークラリーや歩幅計測プログラムなどが利用できます。また、読み取り数に応じた健康コラムも読むことができます。詳細は市ホームページをご覧ください。



市ホームページ

TOKIWALKを使ってみよう

- ① LINEで「ウェルネストラック (WELLNESS TRACK)」を友だちに追加
- ② 友だち追加したウェルネストラックを開き、各チェックポイントの二次元コードを読み取る



友だち追加はこちらから



WELLNESS TRACK

企業・団体の皆さん SDGsの取り組みを宣言・PRしませんか

多くの企業・団体などが参加中！

まつどSDGsキャラバンメンバーシップ制度

市で活動する企業・団体などの皆さんが、SDGs達成に向けた取り組みを考え宣言書を作成し、市に申請・登録する制度です。SDGsに関わる取り組みを宣言・PRして、市とともにSDGsの達成に取り組みませんか。申請方法や同制度の詳細は、市ホームページをご覧ください。

対象：市内で活動を行う市内外の企業・事業所・法人・団体・個人事業主（個人以外の教育機関・任意団体などを含む）



市ホームページ



まつどSDGs
ロゴマーク

まつどで発見！SDGs

地元の高校生たちが地域とコラボ！小金高校のSDGs探究活動

市内にある県立小金高等学校では、令和元年度からSDGsをテーマにした探究学習に取り組んでいます。SDGsをもっと追求したいという生徒たちは「校外活動チーム」に参加し、地元の人や企業、自治体などとのコラボも行っています。

探究学習の中で、先輩たちの思いを引き継ぎながら生徒たちが独自のアイデアで活動している「校外活動チーム」の取り組みの一部を紹介します。 ※同校の取り組みについて詳細は市ホームページをご覧ください。



市ホームページ

チームインディペ

地元農産物を使った商品開発 ～ボナペティ小金パン～

地元農家の応援や地産地消、フードロスの解決などをテーマに販売規格から外れてしまった農産物を市内農家から提供してもらい、市内企業の協力も得てパンとして商品開発。市内のイベントや市ゆかりのスポーツチームの試合会場などで商品を販売し、松戸の特産品のブランド力向上や魅力発信にも貢献しています。他にも、多文化交流の一環で言葉の壁を越えて交流できるフットサル大会を開催し、地元の外国籍の人たちにも参加を呼び掛けるなど、積極的な地域創生活動を行っています。

右：市とコラボしてイベントの松戸市ブースで開発したパンを販売
下：国籍を問わず多くの人が参加したフットサル大会



チームオーシャンズ

マイクロプラスチックがアクセサリーに大変身！

「海の豊かさを守ろう」をテーマに、街から流れ出て海岸などに流れ着いた微細なプラスチックごみ「マイクロプラスチック」を回収しています。回収後は洗浄・分類・加工してアクセサリーの材料として活用し、イベントなどで販売。あえてマイクロプラスチックの形がわかるようにして作る商品には、「海洋汚染の問題やごみを減らすために、Reduceの大切さを広めたい」という生徒たちの思いが込められています。売り上げは環境団体に寄附し、クリーン活動に役立ててもらっています。

右：活動の一環として海岸にたまったごみを収集
下：イベントでは、かわいらしく仕上げたヘアピンやストラップを販売



チームスマイル for study

参考書で子どもの学びをサポート！

捨てられてしまうことの多い参考書の再利用に注目し、新入生を中心に校内から使わなくなった高校受験などの学習参考書を回収。集まった約200冊の参考書は市民交流会館「すまいる」が協力し、同館で中学生たちに無料で貸し出しています。参考書購入の経済的負担を軽減することで、家庭の経済事情に関わらず誰もが学習ができる機会をつくるとともに「すまいる」の利用者も増加する好循環を生み出しています。今後は扱う参考書の種類を広げることも検討しているそうです。

右：生徒たちの協力で数多くの参考書を回収
下：「すまいる」に設置してもらった参考書の棚はチームのメンバー自らの手で管理



みんなで広げよう SDGsの輪

まつどSDGs×産学官民連携 事業提案募集

松戸市総合計画の基本目標のひとつ、「SDGsを推進する社会～人と環境にやさしいまちづくり～」を達成するために、市では公民連携の提案窓口「まつどSDGs×産学官民連携 事業提案窓口」を設置しています。民間企業や大学・研究機関などの皆さんからの、地域課題の解決に向けたアイデアや事業の提案をお待ちしています。提案方法など詳細は市ホームページをご覧ください。



市ホームページ